

特選落語

S P レ コ ー ド 文 句 集 成

岡田則夫
編

解説「落語文句カード集」

岡田則夫

「文句カード」とは、レコードに録音された歌詞や言葉などの詞章を活字化した印刷物である。初期のSPレコードには録音が不完全で、文句が聴き取りにくいものもあり、そういう時の便宜を図るために考えられたものであろう。レコードを聴きながら流行歌や童謡の歌詞を覚えるときにも役立つ。

レコード店ではレコードの本体、紙製のレコード袋、そして文句カードの3点をセットにして販売していた。

カードといってもハガキのような厚紙ではなく、新聞紙や書籍の本文用紙位の薄紙が用いられた。裏の活字が透けて見えるような、ごく薄いペラペラの紙に印刷されたものも多い。これは用紙代を節約するためでもあるが、厚い紙を用いると、商品のレコードを何枚も積み重ねたときに文句カードの紙の厚さの分だけ盛り上がり、平らにならなくなることと、夏季にカード跡が付くことを防ぐためでもあった。

このように片々たる薄紙の文句カードは、レコード袋から出し入れしているうち破損したり、散逸してしまい、レコード本体は残っていても、きわめて保存性に乏しいものである。

文句カード1頁の寸法はタテ約19.5cm、ヨコ13.5cmが各社標準寸法で、稀に大判のものもあるが普及しなかった。戦後の用紙不足の時代にはタバコ箱位の小型判もある。

文句カードの体裁は、詞章の文字数が少ない場合はペラ1枚、落語や漫才や映画説明や演説のような文字数が多くなる場合は二つ折り4頁、8頁と増えていき、二つ折りに1枚差し込んで6頁にすることもあった。複数ページになってもホチキスなどで綴じると盤面にキズが付くので、一切使われていない。刷り色はほとんどが墨一色だが、藍色、茶色も使用された。昭和戦前の童謡や流行歌などには美しい挿絵の入ったものもある。

文句カードはなくなりやすい小紙片なので、まとめて綴じて保存しておくために、厚紙表紙の「文句カード綴り」が売り出され、レコードを大切に作る収集家に愛用された。

昭和期のコロムビアやビクター、ポリドール、キング、テイチク、ニットー、太平、ツルなどの大手レコード会社では、レコー

ド販売店用に、毎月の新譜の文句カードの実物を製本した「新譜文句カード綴り」(非売本)を発行している。

また、文句カードの紙型を利用したり、原稿流用したりして、種目別に編集した単行本も発売された。明治時代には米国コロムビアの詞章をまとめた「美音の栞」(天賞堂)、ドイツライロホンの「スタークトン象印新曲譜歌集」(三光堂)などがある。大正期には、東京蓄音器が「東京レコード文句集」(一集・二集)、日本蓄音器商會が年度版で「ニッポノホン音譜文句集」を出している。昭和に入ると日本ビクターが「ビクター文句集」を発行している。このような単行本の文句集は読んで楽しむ娯楽本としても歓迎された。

文句カードに記載されている項目

文句カードは書籍の奥付のようなものである。記載されている内容は、まずレコードの詞章。そのほかはレーベルに表示されている項目とほぼ同じで、種目、演目、演者名、レコード会社名、商標、レーベル名、レコード番号が記載されている。昭和期のカードには定価を表示しているものもある。また、SP盤は会社によって回転数が若干違うため、ビクターは78回転、ポリドールは80回転と、速度の表示があるカードもある。

書籍の奥付と違うのは発行年月日がどこにも印刷されていないことである。これは常に新しさを売りものにするレコード業界の昔からの慣習で、商品の新鮮度を保っておきたいためと思われる。

演者の顔写真が添えられている文句カードもあるが、これは大変貴重である。

戦前の落語家や漫才師など寄席芸人の写真は案外残っていないもので、その理由は、歌舞伎役者や映画俳優や宝塚少女歌劇団女優のようにプロマイドもなく、写真が掲載されている専門雑誌も少なく、速記本の口絵写真がわずかにある程度で、生写真もほとんど残っていないためである。本書に収載した三代目三遊亭円橋の文句カードの顔写真は、この写真以外には見当たらない。

落語の文句カード

落語のSPレコードは、およそ200人の落語家・音曲師が録音し、約4800枚のレコードが発行されている。筆者はこのうち約3500枚を所蔵しているが、文句カードが揃っているレコードは、半数以下である。文句カードはレコードの本体

より残っていないものなのである。

日本最初のレコード録音は明治36年2月、英国グラモフォンによって行われた出張録音である。出張録音とは技師とともに録音機材一式を日本に送り、ホテルの一室をスタジオ代わりにして録音する方法である。収録した原盤は本国に持ち帰り、レコードの形にプレスして製品とし、それを日本に輸出した。こうしたやり方を出張録音といい、できたレコードを出張録音盤と呼んでいる。出張録音は英国グラモフォンに続いて米国コロムビア、同ビクター、ドイツライロフォン、同ベカ、フランスパテーの各社が来日している。出張録音時代には、初代三遊亭円遊、四代目橘家円喬、六代目朝寝坊夢楽、快楽亭ブラック、上方では曾呂利新左衛門、桂文三、四代目笑福亭松鶴、初代桂枝雀らが吹き込んでいるが、発売時に文句カードは添付されなかった。文句カードが付くようになるのは、明治42年創設の日本蓄音器商會の製品からである。大正に入ると東京、大阪に続々と新会社設立されるようになり、庶民にも普及するようになった。

レコード会社にとって落語のレコードは商品として重要な種目だった。落語家一人でこと足りるので制作経費が安上がりで、しかも流行歌などと違って内容が古くならないので、一度吹き込んでおけば再プレスを重ねて息長く売ることができる商品寿命の長い安定した商品だった。どの会社の発売目録をみても、必ず落語レコードが並んでいる。吹き込まれた演目は「子ほめ」「掛取り」「浮世床」「堀の内」「長屋の花見」のような、誰が聞いても面白いネタで、一家で楽しむことができ、しかも吹き込み者も口慣れていて、表裏6分に収めることが容易であったことが特徴である。「文七元結」や「鰍沢」などの長演ものは、LP時代になるまでは録音されていない。

最も多くのレコードを録音したのは爆笑王初代桂春団治で別格。ニットー、タイヘイなど関西各社のドル箱で、戦後まで発売されている。再発盤も含めると880枚以上になる。「野崎詣り」「ヘッツイ盗人」「宿替え」「いかけ屋」「黄金の大黒」などの十八番ものは飛ぶように売れた。

東京落語で人気のあったのは、大正期では三代目柳家小さん、五代目三升家小勝。昭和に入ると兵隊落語で売り出した柳家金語楼が華々しく登場、昭和の新しい風物を描いた「バスガール」「早慶野球戦」など、子どもから大人まで楽しめる新作落語を次々に吹き込み、一躍レコード界の寵児となった。ほかに「居酒屋」がヒットした三代目三遊亭金馬、柳亭芝楽時代から多数吹き込んでいる七代目春風亭柳枝、「支那ソバ屋」が売れた六代目春風亭柳橋、古典新作両刀遣いの爆笑派柳家権太楼、などが主な吹き込み者。上方では立花家花橋、五代目笑福亭松鶴が多く佳盤を残している。

落語の文句カードは発売に間に合うようにテスト盤を聴いて文字起こしをしたものと思われる。文字化された落語の文句は、想像する以上に忠実に再現されている。上方弁も標準語に直さずそのままである。落語には語呂合わせの洒落や俗語が頻繁にでてくる。早口の口上や、地名や人名、店名などの固有名詞も多く出てくるが、このような語句も、かなり正確に活字化している。文句カードの担当者はさぞかし苦勞されたことだろう。出来上がった原稿を吹込み者に送って校正してもらったのだろうか。その辺の事情はよくわからない。

本書に収録した落語家は、ほとんどが明治ないしは江戸生まれである。落語文句カードは生きた江戸、明治言葉の宝庫であり、有益な史料となっている。

例えば五代目三升家小勝は安政五年(1858年)、江戸生まれ。日米修好通商条約に調印した年だ。明治6年に落語家になった。小勝の落語には江戸から昭和戦前までは花柳界の幫間や芸人や通人の会話に「……でゲス」とか「……でガス」といった言葉遣いが頻繁にでてくる。現在若手の落語家が、廓ばなしを演じる時、明治の雰囲気を出そうと、この「ゲス言葉」を遣うとお客が笑い出してしまって困ったという話を聞いたことがある。時代と共に話し言葉も変わってくる。

それから古い上方落語家の「……でござります」「…申しあげます」などといった納まった言い方も現在では聞かれなくなった。

落語という話芸は実に自由な芸で、同じ古典落語の演目でも時代によって演出も違えば、言葉遣いも変わってくる。レコードを時代順に並べて聴いてみるとよく分かる。これもレコードのもつ記録性の恩恵であろう。

目次

解説(岡田則夫)……………	(3)
凡例……………	(15)
三遊亭円橋(3代目) 大正5年10月24日没	
滑稽桃太郎(上・下)〔写真〕東京レコード(329/330)……………	3
三遊亭円右(初代) 大正13年11月2日没	
鍋草履 ニットーレコード(1088AB)……………	7
布引の産(上・下) ニットーレコード……………	10
春風亭楓枝(都家歌六) 大正15年8月2日没	
宇治中納言 ニッポノホン(1094)……………	13
春風亭柳丸 没年月日不明	
阿呆陀羅經 ケイケイ尽し ビクターオルソニックレコード(50551A)……………	15
春雨家雷蔵 没年月日不明	
七福神宝船(上・下) アサヒレコード(119AB)……………	17
横目家助平 没年月日不明	
お説教(上・下)〔写真〕東京レコード(2129/2130)……………	21
三遊亭円歌(初代) 昭和2年10月22日没	
菅原息子(上・下)〔写真〕ニッポノホン(670/671)……………	25
柳家小さん(3代目) 昭和5年11月29日没	
うどんや(上・下) ニッポノホン(317/318)……………	29

粗忽長屋 (上・下)	三光堂 (4289/4290)	33
粗忽者 (上・下)	東京レコード (2995AB)	37
大工調べ (上・下)	ニッポノホン (323/324)	43
転失気 (上・下)	写真 スピントスレコード (2775/2776)	47
桂小文枝 (2代目)	昭和6年1月9日没	47
三十石 (上・下)	ヒーローレコード (1053AB)	51
桂春団治 (初代)	昭和9年10月6日没	51
浮世床 (一・二・三・四・五・六)	ニッポノホン (2561AB/2562AB/2563AB)	53
からし医者 (上・下)	ニッポノホン (12AB)	66
黄金の大黒 (一・二・三・四)	写真 ニッポノホン (3909AB/3910AB)	70
猪買い (一・二・三・四)	写真 ニッポノホン (5373AB/5374AB)	78
田楽喰ひ (一・二・三・四)	写真 ニッポノホン (3574AB/3575AB)	87
猫の災難 (一・二・三・四)	ニッポノホン (1168AB/1169AB)	96
野崎詣り (一・二・三・四)	写真 ニッポノホン (3880AB/3881AB)	104
ヘッツイ盗人 (一・二・三・四)	写真 ニッポノホン (4261AB/4262AB)	112
露の五郎	昭和11年2月19日没	112
質屋芝居 (上・下)	ニッポノホン (1761 AB)	122
柳家三語楼	昭和13年6月29日没	122
嘘の皮 (一・二・三・四)	ニッポノホン (16083AB/16084AB)	125
見世物風景 (上・下)	トンポレコード (15693AB)	133
山口慶二 (柳家三語楼)	昭和13年6月29日没	133
花嫁十人 (上・下)	写真 東京レコード (702/703)	137
三升亭小勝 (5代目)	三升家小勝 (5代目)	昭和14年5月24日没	137

小粒 (上・下)	写真 東京レコード (193/194)	141
矢かん (上・下)	ヒーローレコード (5273/5274)	145
三升家小勝 (5代目)	三升亭小勝 (5代目)	昭和14年5月24日没	145
裏向き (一・二)	スタークトンレコード (5508/5509)	149
癪にさわる (上・下)	ニッポノホン (17149AB)	153
二十四孝 (上・下)	ビクターオールソニックレコード (50490AB)	157
雪てん (上・下)	スタークトンレコード (5969/5970)	164
笑福亭松鶴 (4代目)	昭和17年8月20日没	164
傾城高尾 (一・二・三・四)	内外レコード (2585/2586/2587/2588)	168
桂三木助 (2代目)	昭和18年12月1日没	168
お伊勢道中 (一・二・三・四)	ロッカレコード (8135AB/8136AB)	176
朝寝坊むらく (三遊亭円馬 (3代目)	昭和20年1月13日没	176
戦争ばなし (上・下)	写真 東京レコード (30/31)	184
三遊亭円馬 (3代目)	昭和20年1月13日没	184
高砂や (上・下)	ビクターオールソニックレコード (50358AB)	192
六尺棒 (上・下)	ニッポノホン (15144AB)	196
立花家千橋	昭和20年3月没	196
千橋の兵隊 (上・下)	ニッポノホン (2560AB)	200
柳家小さん (4代目)	昭和22年9月30日没	200
かぼちや売り (上・下)	写真 リーガルレコード (65329AB)	204
長屋の花見 (上・下)	写真 キングレコード (78005)	208
二人旅 (上・下)	写真 オーゴンレコード (A7093AB)	212
林家正蔵 (7代目)	柳家小三治	昭和24年10月26日没	212

凡例

一 本書の内容

本書はSPレコード蒐集家の岡田則夫氏の個人所蔵コレクションより、厳選した落語九十九編のSPレコード盤に封入された文句カードを復刻したものである。

大正期から昭和前期にかけて市販・流通したものであるため、保存状態が万全ではなく、一部に不鮮明なところが散見されるが、ご了承願いたい。

本書に収録した演目の中には、今日から見れば不相当と思われる語句や表現があるが、当時の時代背景を考慮し、そのまま掲載した。

二 目次

文句カード冒頭に演者の肖像が掲載されている場合、演目の後に〔写真〕というアイコンで示した。

三 本文の排列

演者の没年月日順、次に演者の別名の五十音順、さらに演目の五十音順に排列した。没年月日不明の場合は、昭和期の冒頭に排した。

四 索引・一覧

(一) 演者索引

落語家は、名跡や亭号が変遷する。演者索引では主な亭号のどちらからでも引くことができるように個々の芸名(別名)の五十音順で配列し、該当ページを示した。

「柳家小三治」と「小三次」、「桂福団治」と「福団次」など、同一人物でありながら文句カード上の表記が分かれる場合、

一般的な表記を採用した。「柳家小さん(3代目)」など、落語家の代目は「柳家小さん③」のように丸付き数字で付記した。「枝鶴改メ二代目 笑福亭松鶴」など、文句カード上の代目表示が誤りと思われる場合、索引上で適宜訂正した。

文句カードの演者表記と一致しない場合もあるが、索引上では分かる範囲で別名を()内に補記した。

(二) 演目索引

演目の五十音順に配列し、該当ページを示した。同じ演目を異なる演者が講じる場合もあり、演者名を()内に補記した。

(三) レコードレーベル一覧

レコードレーベル名の五十音順、次に音盤番号順に演目を排列し、該当ページを示した。

(四) 記載形式

原則、旧字は新字に改めたが、旧仮名遣いはそのままとした。



31030

己れが驚き身體から脂汗を流す、これを金網の下に漉きとり、三七二十一日の間、柳の小枝を以てトローリ／＼とたきしめ、赤い辰砂や椰子の油、テレメンターかにマンテイカ、斯様な油を煉り合せてこしらへる。このがまの油の效能は、濕疹に雁瘡楊梅瘡、ひゞ凍傷あか切れの妙薬。まだある、大の男が疊にころがつて苦しむのが齧の痛みだよ齧、齧だつたら心配する事がない、紙に煉つてうろい詰め、口を結んでどくと、少したつと熱い涎が出ると共に齒の痛みが去る——まだある、双物の斬れ味を止める双物の斬れ味を、紙を切つてお目にかけてよう、一枚の紙が二枚、二枚が四枚、四枚が八枚、八枚が十六枚、十六枚が三十二枚、三十二枚が六十四枚、ハツ、六十四枚が一〇二十、八枚と切れるこの通り嵐山は落花の形、かやうに斬れる双物でも、たつた一附け附ける時は鈍刀同様になる、お立會ひ、押ししても引いても斬れない、だが薬屋、その薬は双物をなまくらにする薬かといふかうな御仁があるがネ、苟くも大道商ひはしてゐるが、金看板御免のがまの油、そんな薬は賣らないネ、拭きとる時は、一寸さはつてこの位、赤い血が出たお立會ひ、斬れても心配することがない斬れたらば拭きとる、薬をたつた一つつけける時は、煙草一服呑むか呑まない中斯様に血が止る。ヘイ只今、どの位で分けてくれやうといふ方があるだらう、宿元でこの貝一貝が二百出張つての御披露だから一貝百文と負けよう。百や二百は益ない事に吾人使ふが、この貝一貝あつたらどのくらゐ調法か判らない——ヘエ有難うございます、へ

轉回八十七間分一はドーコレグレンキ



31030



(上)

落語

がまの油

春風亭柳好

「サア／＼お立會ひ、御用と急ぎのない方はゆつくりと聞いておいで。遠山越し笠の内、聞かざる時は物の黒白出方善悪がとんと分らない。山寺の鐘ゴウ／＼となるといへど童兒來つて鐘にしゆもくを興えずはとんと鐘の音色が分らない。サアお立會ひ、手前持ち出した軍中膏がまの油、こんな蛙は縁の下や流しの所に棲むといふ方があつたら、それはひき蛙、薬石や效能の足しにならない、四六のがまだ四六のがま、四六五六はどこで分る、前足の指が四本、後足が六本、これをなづけしてしきめんさうは四六のがま、このがまが棲むのは、これより北北は筑波山の麓に、車前草といふ露草を喰つて育つ、さこのがまの油をとるのには四方に鏡をはり下にと金網を張る、がまをこの中へ追ひ込む、がまは己れの姿が四方の鏡に寫り、己れで

轉回八十七間分一はドーコレグレンキ

¥1.15 (済付納)



ドーコレ グンキ

31030

とる——薬をたつた一つつけける時は、煙草一服呑むか呑まない中に血が………止まらないね、こりや——止まらなきや、又つける、二つつけければ必ず止まるぞ——ウヘツ、これは止ま、大變だいこりやみんなぬり込んでしまはうこりや、ぬり込んで、こりや止まらないね』

『オイ、青い面してやアからア止まらないつて、聞いてごらん油屋どうした』

『お立會ひの中に血止めの薬はないか』

轉回八十七間分一はドーコレグンキ



ドーコレ グンキ

31030

エ有難うございます』

(下)

このがまの油屋さん大さう賣口がよろしいのでうんと金が儲かりました。一杯のんで歸ろうてエのがさうまゐりませんで、一杯が二杯、三杯、ヘマレケによつばらつたが翌せい朝忘れませんでもう一儲、もうけやうてんでサア、お立會ひ御用と御急ぎの方はゆつくりと聞いておいで、サア軍中膏がまの油、四六フハハ………四六、五六は何處で分る、前足が六本四本後足が六本四六のがま、このがまの油を、ウルサイ子供ツ、つるには四方に金網を張る下へ鏡を、がまの中へ追ひ込む、がま己の姿が四方の金網を………これあべこべだお立會ひのがまの油の効能は双物の切れ味をよくする手前持出だしたはそまつな品であるが、刃引や鈍刀と違ふ、抜けば玉散る氷の刃たど能書で工合が悪い紙を斬つてお目にかけよう。一枚の紙が二枚と切れた、どうだ驚いたらう、二枚が四枚サア、四枚が八枚、サア八枚がエート、八枚が十五枚、十六枚がエー………何枚だオイ？三十二枚？ア一さう三十二枚、三十二枚がめちや／＼に切れる、嵐山落花の形斯様に切れる双物でもたつた一つつけける時は、鈍刀同様になる、お立會ひ、ソラ押しても引いても切れない——エエ切れた？そんなことはないよ、イヤ押しても引いても………切れたこれは——切れても心配ない、切れたら拭き

轉回八十七間分一はドーコレグンキ

演者索引

- 朝寝坊 むらく
 (三遊亭 円馬③) …… 184, 192, 196
- 桂 小春団治② …… 478, 484
- 桂 小文枝② …… 51, 405
- 桂 春団治① …… 53, 66, 70, 78,
 87, 96, 104, 112
- 桂 春団治② (桂 福団治) …… 301, 309
- 桂 福団治 (桂 春団治②) …… 301, 309
- 桂 文治⑧ …… 332
- 桂 文七 (三遊亭 右女助 | 三升家 小勝⑥)
 …… 442, 446
- 桂 文楽⑧ …… 435
- 桂 三木助② …… 176
- 桂 米丸 (古今亭 今輔) …… 495
- 古今亭 今輔 (桂 米丸) …… 495
- 古今亭 錦生 (古今亭 志ん馬) …… 352
- 古今亭 甚語楼 (柳家 三太楼) …… 431
- 古今亭 志ん生 …… 474
- 古今亭 志ん馬 (古今亭 錦生) …… 352
- 三遊亭 右女助
 (桂 文七 | 三升家 小勝⑥) …… 442, 446
- 三遊亭 円右① …… 7, 10
- 三遊亭 円歌① …… 25
- 三遊亭 円歌② …… 372
- 三遊亭 円橋③ …… 3
- 三遊亭 円馬③ (朝寝坊 むらく)
 …… 184, 192, 196
- 三遊亭 歌笑 …… 224
- 三遊亭 銀馬 …… 491
- 三遊亭 金馬③ …… 377, 385, 389, 397
- 三遊亭 遊三② …… 356
- 春風亭 楓枝 (都家 歌六) …… 13
- 春風亭 柳橋 …… 499, 503
- 春風亭 柳好③ …… 340, 344, 348
- 春風亭 柳丸 …… 15
- 笑福亭 円歌 …… 290
- 笑福亭 枝鶴 (笑福亭 松鶴⑤)
 …… 228, 236, 244, 252, 260
- 笑福亭 松鶴④ …… 168
- 笑福亭 松鶴⑤ (笑福亭 枝鶴)
 …… 228, 236, 244, 252, 260
- 昔々亭 桃太郎 …… 417, 421, 427
- 橘 円都 …… 450
- 立花家 花橘 …… 268, 274, 280, 286, 200
- 蝶花楼 馬楽 (林家 彦六) …… 510, 514
- 露の 五郎 …… 122
- 林家 正蔵⑦ (柳家 小三治) …… 216, 220
- 林家 染丸② …… 298
- 林家 彦六 (蝶花楼 馬楽) …… 510, 514
- 春雨家 雷蔵 …… 17
- 文乃家 かしく …… 507
- 三升亭 小勝⑤ (三升家 小勝⑥)
 …… 141, 145, 149, 153, 157, 164
- 三升家 小勝⑤ (三升亭 小勝⑤)
 …… 141, 145, 149, 153, 157, 164
- 三升家 小勝⑥
 (桂 文七 | 三遊亭 右女助) …… 442, 446
- 都家 歌六 (春風亭 楓枝) …… 13
- 柳家 金語楼 …… 454, 458, 462, 466, 470
- 柳家 小さん③ …… 29, 33, 37, 43, 47

- 柳家 小さん④ …… 204, 208, 212
- 柳家 小三治 (林家 正蔵⑦) …… 216, 220
- 柳家 権太楼 …… 320, 324, 328
- 柳家 三語楼 (山口 慶二)
 …… 125, 133, 137
- 柳家 三太楼 (古今亭 甚語楼) …… 431
- 柳家 三亀松 …… 409
- 山口 慶二 (柳家 三語楼)
 …… 125, 133, 137
- 横目家 助平 …… 21
- 柳亭 市馬 …… 336
- 柳亭 左楽⑤ …… 317
- 鈴々舎 馬風 …… 364, 368

演目索引

- 秋葉丁稚 (立花家 花橘) …………… 268
 阿呆陀羅經 ケイケイ尽し
 (春風亭 柳丸) …………… 15
 あわて者の熊さん (柳家 権太楼)
 …………… 320
 居酒屋 (三遊亭 金馬③) …………… 377
 浮世床 (桂 春団治①) …………… 53
 宇治中納言 (春風亭 楓枝) …………… 13
 牛若丸 (林家 正蔵⑦) …………… 216
 嘘つき村 (三遊亭 金馬③) …………… 385
 嘘の皮 (柳家 三語楼) …………… 125
 うどんや (柳家 小さん③) …………… 29
 裏向き (三升家 小勝⑤) …………… 149
 売声 (柳亭 市馬) …………… 336
 演説会 (柳家 金語楼) …………… 454
 お伊勢道中 (桂 三木助②) …………… 176
 太田道灌 (橋 円都) …………… 450
 大津の宿 (桂 小春団治②) …………… 478
 お説教 (横目家 助平) …………… 21
 音楽花電車 (三遊亭 歌笑) …………… 224
 女運転手 (昔々亭 桃太郎) …………… 417
 掛取新戦術 (春風亭 柳橋) …………… 499
 カツレツ (柳家 権太楼) …………… 324
 かぼちや売り (柳家 小さん④) …… 204
 がまの油 (笑福亭 松鶴⑤) …………… 260
 がまの油 (春風亭 柳好③) …………… 340
 からし医者 (桂 春団治①) …………… 66
 花柳界穴さがし (笑福亭 枝鶴) …… 228
 祇園祭 (桂 文治⑧) …………… 332
 銀座病患者 (蝶花楼 馬楽) …………… 510
 禁酒 (桂 小春団治②) …………… 484
 禁酒 (桂 米丸) …………… 495
 黄金の大黒 (桂 春団治①) …………… 70
 クシヤミ講釈 (笑福亭 枝鶴) …… 236
 口入屋 (昔々亭 桃太郎) …………… 421
 計算器 (桂 文七) …………… 442
 計算器 (三遊亭 銀馬) …………… 491
 傾城高尾 (笑福亭 松鶴⑤) …… 168
 結婚の夢 (柳亭 左楽⑤) …………… 317
 現代芸者 (柳家 金語楼) …………… 458
 小倉船 (古今亭 志ん馬) …………… 352
 小言幸兵衛 (三遊亭 遊三②) …… 356
 滑稽怪談尼寺 (立花家 花橘) …… 274
 滑稽桃太郎 (三遊亭 円橋③) …… 3
 小粒 (三升亭 小勝⑤) …………… 141
 暦湯 (林家 染丸②) …………… 298
 酒の座 (文乃家 かしく) …………… 507
 酒は乱れ飛ぶ (柳家 金語楼) …… 462
 三十石 (桂 小文枝②) …………… 51
 三十石 (船宿) (笑福亭 枝鶴) …… 244
 地獄と極楽 (鈴々舎 馬風) …… 364
 猪買ひ (桂 春団治①) …………… 78
 七段目 (三遊亭 円歌②) …………… 372
 七福神宝船 (春雨家 雷蔵) …… 17
 質屋芝居 (露の 五郎) …………… 122
 支那そば屋 (春風亭 柳橋) …… 503
 癪にさわる (三升家 小勝⑤) …… 153
 乗車券 (柳家 金語楼) …………… 466
 菅原息子 (三遊亭 円歌①) …… 25
 洲崎の一夜 (柳家 三亀松) …… 409
 相撲 (三遊亭 金馬③) …………… 389
 千橋の兵隊 (立花家 千橋) …… 200
 戦争ばなし (朝寝坊 むらく) …… 184
 続カツレツ (柳家 権太楼) …… 328
 粗忽長屋 (柳家 小さん③) …… 33
 粗忽者 (柳家 小さん③) …… 37
 大工調べ (柳家 小さん③) …… 43
 大震災 遭難物語 (桂 小文治②) … 405
 高砂や (三遊亭 円馬③) …………… 192
 箆筒の幽霊 (春風亭 柳好③) …… 344
 提灯屋 (桂 福団治) …………… 301
 亭主関白 (古今亭 志ん生) …… 474
 丁稚芝居 (立花家 花橘) …… 280
 田楽喰ひ (桂 春団治①) …… 87
 転失気 (柳家 小さん③) …… 47
 長屋チーム (三遊亭 金馬③) …… 397
 長屋の花見 (柳家 小さん④) …… 208
 鍋草履 (三遊亭 円右①) …… 7
 二十四孝 (三升家 小勝⑤) …… 157
 二人旅 (柳家 小さん④) …… 212
 布引の産 (三遊亭 円右①) …… 10
 猫の災難 (桂 春団治①) …… 96
 野崎詣り (桂 春団治①) …… 104
 俳句修業 (昔々亭 桃太郎) …… 427
 化物チーム (蝶花楼 馬楽) …… 514
 花嫁十人 (山口 慶二) …… 137
 ひやかし (笑福亭 円歌) …… 290
 百パーセントのどろ (柳家 三太楼)
 …………… 431
 無精床屋 (林家 正蔵⑦) …… 220
 舟徳 (桂 文楽⑧) …… 435
 文化しるこ (立花家 花橘) …… 286
 ヘツツイ盗人 (桂 春団治①) …… 112
 満洲土産 (三遊亭 右女助) …… 446
 見世物風景 (柳家 三語楼) …… 133
 めがね屋 (桂 福団治) …… 309
 矢かん (三升亭 小勝⑤) …… 145
 藪入り (春風亭 柳好③) …… 348
 雪てん (三升家 小勝⑤) …… 164
 落語学校 珍挨拶の巻 (鈴々舎 馬風)
 …………… 368
 落語家の兵隊 靴磨き (柳家 金語楼)
 …………… 470
 恪気駒 (笑福亭 枝鶴) …… 252
 六尺棒 (三遊亭 円馬③) …… 196

レコードレーベル別一覧

アサヒレコード

- 96AB 太田道灌 (橋 円都) 450
 119AB 七福神宝船 (春雨家 雷蔵) 17

オーゴンレコード

- A7093AB 二人旅 (柳家 小さん④) 212
 A7094AB 藪入り (春風亭 柳好③) 348

オリエントレコード

- 2568AB/2569AB ひやかし (笑福亭 円歌) 290
 2595AB/2596AB 三十石 (船宿) (笑福亭 枝鶴) 244
 2858AB/2859AB 小言幸兵衛 (三遊亭 遊三②) 356
 3058AB/3059AB 愷気駒 (笑福亭 枝鶴) 252

キングレコード

- C554 音楽花電車 (三遊亭 歌笑) 224
 K264AB 掛取新戦術 (春風亭 柳橋) 499
 S56019 箆笥の幽霊 (春風亭 柳好③) 344
 21053 支那そば屋 (春風亭 柳橋) 503
 31030 がまの油 (春風亭 柳好③) 340
 68067 落語学校 珍挨拶の巻 (鈴々舎 馬風) 368
 78005 長屋の花見 (柳家 小さん④) 208

コッカレコード

- 8135AB/8136AB お伊勢道中 (桂 三木助②) 176

コロンビアレコード

- 28242 乗車券 (柳家 金語楼) 466
 27257AB 酒は乱れ飛ぶ (柳家 金語楼) 462

サロレコード

- 527AB/528AB 提灯屋 (桂 福団治) 301

三光堂

- 4289/4290 粗忽長屋 (柳家 小さん③) 33

スタークトレコード

- 5508/5509 裏向き (三升家 小勝⑤) 149

- 5969/5970 雪てん (三升家 小勝⑤) 164

スタンダード

- 2843AB/2844AB クシヤミ講釈 (笑福亭 枝鶴) 236
 3025AB/3026AB 花柳界穴さがし (笑福亭 枝鶴) 228

スピックスレコード

- 2775/2776 転失気 (柳家 小さん③) 47

精華レコード

- 107AB 計算器 (三遊亭 銀馬) 491

タイヘイレコード

- 15154AB がまの油 (笑福亭 松鶴⑤) 260
 15234AB/15235AB 丁稚芝居 (立花家 花橋) 280
 3436AB/3437AB 洲崎の一夜 (柳家 三亀松) 409
 4563AB 地獄と極楽 (鈴々舎 馬風) 364

太陽レコード

- 2200AB カツレツ (柳家 権太楼) 324
 2311AB 続カツレツ (柳家 権太楼) 328
 2399AB あわて者の熊さん (柳家 権太楼) 320

ツルレコード

- 1086AB 女運転手 (昔々亭 桃太郎) 417
 6046AB 百パーセントのどろ (柳家 三太楼) 431

テイチクレコード

- T3402 亭主関白 (古今亭 志ん生) 474
 T3404 祇園祭 (桂 文治⑧) 332
 大 570 (15355) 計算器 (桂 文七) 442
 50216 演説会 (柳家 金語楼) 454

東京レコード

- 30/31 戦争ばなし (朝寝坊 むらく) 184
 193/194 小粒 (三升亭 小勝⑤) 141
 329/330 滑稽桃太郎 (三遊亭 円橋③) 3
 578/579 小倉船 (古今亭 志ん馬) 352
 702/703 花嫁十人 (山口 慶二) 137
 1479/1480 満洲土産 (三遊亭 右女助) 446
 2129/2130 お説教 (横目家 助平) 21
 2995AB 粗忽者 (柳家 小さん③) 37

編者略歴

岡田 則夫（おかだ・のりお）

東京都生まれ。日本大学文理学部卒業。大衆芸能研究家・SPレコード収集家。演芸評論家小島貞二に師事。著書に「SPレコード蒐集奇談」など。日外アソシエーツより「デジタル復刻版 百花園 全240号」（2014）、「三芳屋落語速記本復刻 明治大正落語名人選集」（2018）、「特選上方漫才 SPレコード文句集成」（2024）を刊行。

特選落語 SPレコード文句集成

2025年6月25日 第1刷発行

編者／岡田則夫

発行者／山下浩

発行／日外アソシエーツ株式会社

〒140-0013 東京都品川区南大井6-16-16 鈴中ビル大森アネックス

電話 (03)3763-5241 (代表) FAX(03)3764-0845

URL <https://www.nichigai.co.jp/>

印刷・製本／株式会社平河工業社

©Norio OKADA 2025

不許複製・禁無断転載

<落丁・乱丁本はお取り替えます>

ISBN978-4-8169-3057-7

Printed in Japan, 2025